

は追放、流罪と決まる。

### 第二幕

\*第一場ラムラ（パレスチナ）の山中、泉のほとり・・・第一幕の出来事から4年の歳月が流れる。弟ロジェは、兄は死んだものと思い、後悔の念、罪の重さに苛まれて巡礼に。ここパレスチナの地ラムラの山中で隠者となり、神の慈悲にすがり祈りの日々を送っている。

そこへガストンの従者レーモンが水を求めてやってくる。彼の話では、多くの巡礼者たちが道に迷っている。とのことでロジェは巡礼者たちを捜しにゆく。（巡礼者たち＝民衆十字軍かもしれない。演出者の意図が知りたい）

そこへ又エレヌと侍女イゾールがやって来た。彼女は追放された恋人ガストンがこの地で死んだと仄聞。父の十字軍に同行、この地の隠者に生死を確認するために、ここへ来たのであるが、たまたまレーモンと再会、ガストンは異教徒に捕まりこの地の首領の館に居ると聞き安堵する。また、道に迷った巡礼者たちも水を求めてやってくる。暫くして、戦いのマーチが聞こえ、ローマ教皇特使を先頭に伯爵の十字軍がロジェの誘導で来る。伯爵は隠者が弟ロジェであることに気づかない。隠者ロジェは十字軍に入ることを希望し、十字軍は勝利を確信、イエルサレムへ。

\*第二場ラムラの異教徒の館・・・ガストンはこの館に囚われていた。首領が現れガストンに、お前を殺さなかったのは、お前の仲間を怒らせたくなかったからだが、もしお前が逃亡しようとするれば死がまっているぞ、と脅す。一方エレヌは異教徒の女に変装してラムラの町に来ていたが、この館の城壁を守る兵士に捕らわれる。首領はエレヌを一瞥するも気品のある彼女を見て、ガストンとの繋がりを直観し、ふたりを同室に置き監視した。ふたりは一時の間、再会を喜び、愛を確かめ合う。やがて窓の外から十字軍のラッパが聞こえてくる。二人は窓から逃げようとするが、兵士に捕らえられる。

### 第三幕

\*第一場ハーレムの庭・・・後宮に住む女たちの踊りをエレヌがじっと見つめている。そこへ首領が現れ兵士に言う、もし十字軍が攻め入ってきたら、この女の首をはねろ、と。その後十字軍が館にやってくる。後宮の女たちは逃げ惑う。一方ガストンが逃げてきてエレヌに合うが、二人は十字軍とばったり。激昂した伯爵は、娘エレヌを勘当する。ガストンへはローマ教皇特使から死刑を宣告・・・

\*第二場ラムラの町の広場

ガストンが引き出される。ガストンは、死は恐れないが名誉だけは失いたくない。無罪を訴えるがどうにもならない。死刑執行人がガストンの兜、盾、剣を次々と大きな金槌で壊した。

### 第四幕

\*第一場ヨサハテの谷・・・十字軍の陣営近くのこの谷で、ロジェはイエルサレムへの一番乗りをして死にたいと独白。隠者ロジェはローマ教皇特使から、もうじき死刑になる極悪人の魂を救ってやって下さいと頼まれる。そこへガストンが兵士に連れられて現われる。エレヌも姿を現す。ガストンは隠者ロジェへ、「わたしは聖戦に加われないのが残念である。」と訴え、エレヌと共に慈悲を乞う。隠者ロジェは彼に剣を与え、主の為に戦え、お前は自由の身だ、とガストンに告げる。